

令和2年5月1日

生徒・保護者の皆様

県立大磯高等学校  
校長 遠藤 誠

### 臨時休業に係るお知らせ

生徒・保護者の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための学校の臨時休業にご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。

さて、この度の臨時休業の期間は5月6日までとなっておりますが、現時点では国は緊急事態宣言が、5月6日を超えて延長されるのか、解除されるのかは明らかになっていない状況です。また、今後専門家会議の分析結果をもとに国において、5月初旬にも判断されるとの報道もあります。このような状況を踏まえ、国による緊急事態宣言の延長判断が行われる前に、県教育委員会から5月7日及び8日について臨時休業を延長する方針が示されましたので、両日を臨時休業といたします。5月11日以降の対応については、現在検討中となっております。

そこで、年度当初予定していた、大きな行事の変更をお知らせします。

①前期中間試験の中止

②体育祭の6月実施の中止(今後の開催の中止及び延期について検討)

また、臨時休業が長期化していることから、生徒の皆さんの学習保障の観点から、今後、各科目の課題を送付する予定です。課題に対して前向きかつ意欲的に取り組んでください。各課題の取り組み方を合わせて記載してありますのでその指示に従って学習してください。

臨時休業中は生徒の登校を禁止しています。やむを得ない事情がある場合はクラス担任か学年の先生に連絡をしてください。

最後に3年生の運動部の生徒に連絡です。全国高等学校体育連盟は、国内の新型コロナウイルスの感染の収束には相当な時間がかかると言われていること、競技中や移動や宿泊などによる感染リスクが大きく選手をはじめ大会関係者の安全を確保することが難しいこと、学校の臨時休業で十分な練習時間を確保するのが困難であることなどを理由に、この夏8月10日から24日にかけて開かれることになっていました全国高校総合体育大会（インターハイ）の開催を中止することを発表しました。

部活動に打ち込んできた3年生の皆さんにとって、非常につらいことであると思います。今言えることは多くはありません。…が、1つ言えることは、目の前の目標はなくなってしまったけれど、皆さんが積み重ねてきた努力は、皆さんの体力、競技力として蓄積していますし、負けない気持ちを育ててくれましたし、仲間と苦しみを乗り越える心の繋がりを生み出してきていると信じられることです。

高校総体の中止という困難に負けない生徒であって欲しいと願っています。すぐには気持ちの切り替えが付かないことはわかります。1日も早く次の目標に向き合えるよう、気持ちを整理し、次への考え方の糸口を掴んでほしいと思います。

磯高生の皆さん、今の状況の出口はなかなか見えてきません。しかし、今の状況を糧に良い方向へ進むかは皆さん次第です。この状況にあって皆さんの人間力が試されています。家族も方も学校も皆さんの生活が充実する支援はできますが、充実させるかさせないかは皆さんの気持ち次第です。学習についていえば、「やらされていた勉強」の在り方から、「自ら学ぼうとする」意欲的な姿勢への変換を求められています。もしそれができなかつたら、時はただ流れていくだけです。今、皆さんの頑張りどころです。

問合せ先  
副校長 加来  
電話 0463-61-2498